レンジフードファン 取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに基づき電気工事を行ってください。

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警 告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注 意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警 告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
  発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
  火災などの原因となります。

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
  誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

- アースを確実に取り付けること
  故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること
  漏電した場合、発火したり感電することがあります。

- レンジフードファン本体と排気ダクトは、可燃物との間隔を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
  火災などの原因となります。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

- 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと
  火災・故障の原因となります。

- レンジフードファンの壁への埋め込みはしないこと
  漏電した場合、発火するおそれがあります。

- レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないようにすること
  漏電した場合、発火するおそれがあります。

- 交流100V以外では使用しないこと
  火災・感電の原因となります。

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
  排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

⚠ 注 意

- 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります。

- ファンや部品の取り付けは確実に行うこと
  落下によりけがをするおそれがあります。

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと
  落下によりけがをすることがあります。

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）
  感電および故障の原因になります。

- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
  けがをすることがあります。

取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
  - ・大工工事【設置のための下地工事等】
  - ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
  - ・管工事【ダクト配管およびレンジフードファンからのダクト接続等】

  流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。
- ダクトの不燃処理について
  - ・ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
  - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。また調理器具はレンジフードファンの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は50Pa時400m³/h以上のものをご使用ください。
  防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- 製品は調理器具の真上に取り付けてください。
  なお、製品取付高さは、製品の下端が調理器具の真上80cm以上になるようにしてください。

  80cm以上
- レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。
  湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。

  50cm 以上
- 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。
  火災・故障の原因となります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中央で料理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、より優れた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm² 程度の空気取入口を設けてください。

取り付け前の調査と準備

⚠ 注 意

- レンジフードファン本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強桟等に確実に行うこと
  落下によりけがをすることがあります。
  壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。

お願い
レンジフードファン取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。
本体の取付用ねじは45mmの長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、レンジフードファン本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

1 取付面の強度確認
製品を支える強さが必要です。

製品単体質量	
600 幅	20.5 kg
750 幅	22.0 kg
900 幅	23.5 kg

■ 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理を行ってください）
- 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードファンを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板は不要です。

■ コンクリート、タイル壁の場合
- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■ 土壁の場合
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2 吊りボルトの設置
2本の吊りボルトを下図および製品寸法図を参照して天井部梁に取り付けます。
※ 吊りボルトはM10（市販品）を使用してください。
※ 吊りボルトは耐荷重 200kg／本となるように取り付けてください。

3 別売部品の準備
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

4 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は、調理器具の上面から製品の下端まで 80cm です。
※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理器具の真上 80cm 以上必要となっています。

5 電源コンセント・ブレーカ
電源コンセント・ブレーカは専用のものを設置してください。
（交流・単相 100V）
コンセントは、JIS C 8303 2極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

お願い 必ずアース（D種接地工事）をしてください。
レンジフードファンが誤作動することがあります。

付属品

- 座付ねじ φ 5.1 × 45（6本）
  本体の取り付けに使います。
- 吊り金具（2個）
  本体上面に取り付けます。
- 天吊り金具（2個）
  本体上面に取り付けます。
- ソフトテープ（1本）
  排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使います。
- 排気口（1個）
  本体とダクトの接続に使います。
  逆風防止シャッター付きです。
  取付ねじは本体に取り付いています。
- 幕板（1個）
  フードの上部に取り付けます。

製品寸法図

	A寸法	B寸法
900幅	900	750
750幅	750	600
600幅	600	450

各部の名称

取り付けかた

1. 付属品の確認

⚠ 注 意

- 製品取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
  鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。

梱包箱から排気口、座付ねじ等の付属品を取り出し、上項の付属品一覧により不足がないか確認してください。

お願い
保護用のクッション材と固定テープは取付作業が完了するまでキズ、破損防止のためはずさないでください。（図1－1）

2. 排気方向の決定

⚠ 警 告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けること
  漏電した場合、発火したり感電することがあります。

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
  火災などの原因となります。

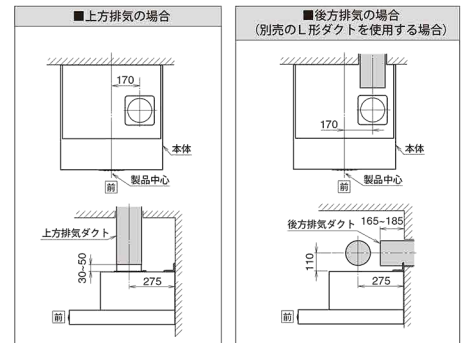
- 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと
  火災・故障の原因となります。

⚠ 注 意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
  感電および故障の原因になります（浴室用換気扇をお使いください）。

■ お願い
本製品は右側排気用と左側排気用の２種類があります。取り付けの前に確認してください。
本説明書は右側排気用の図で説明しています。左側排気用の場合は排気口の位置が逆になりますが、取付方法は同じです。

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。
また、コンセントの位置を確認してください。（「7. 電気配線」図7－1参照）

2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードファンの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。
（コンクリート、タイル、土壁の場合）

3. 本体の準備

1 天吊り金具および吊り金具を取り付けます。（図3－1）

本体の天板に２本ずつあらかじめ取り付けられているねじを使用し、付属品の天吊り金具２個および吊り金具２個を天板へ取り付けます。

2 吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。（図3－2）

吊りボルトの上側のフランジ付き六角ナットの位置（天吊り金具取り付け位置）は製品寸法図を参考にあらかじめセットしておくと後作業が容易になります。

4. 排気用部品の準備

■ 上方排気の場合（図4－1）
排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。
本体に付いているねじ２本を取りはずした後、付属品の排気口を取り付けます。
取付方向は右図を参照してください。

■ 後方排気の場合（図4－2）
（別売のL形ダクトを使用する場合）
排気口に付属品のソフトテープを貼り、L形ダクトに取り付けます。
取付方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードファンを運転していないときはシャッターが閉じるように取り付けます。
排気口は、取付ねじ（M4 × 8）4本でL形ダクトに取り付けてください。
本体への取り付けは、本体の取り付け後に行います。（「6. ダクトと排気用部品の接続」参照）

お願い
L形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。
下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因になります。

5. 本体の取り付け

⚠ 注 意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと
  落下により、けがをすることがあります。
- 部品の取り付けは確実に行うこと
  落下によりけがをするおそれがあります。

1 製品寸法図を参考にして付属の座付ねじ（φ 5.1 × 45）をねじ込みます。
だるま穴位置（左右各１ケ所）に座付ねじ（φ 5.1 × 45）を壁面との隙間５mmまで締め付けてください。（図5－1）

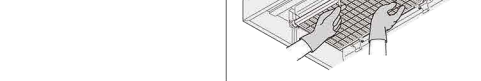
2 吊りボルト先端を天吊り金具に通しながら座付ねじに本体のだるま穴を引っ掛けた後、しっかり締め付けてください。（図5－2 ❷）

お願い
上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

3 フランジ付き六角ナットで天吊り金具をしっかりと締め付けて固定します。（図5－2 ❸）

お願い
本体の水平度を確認しながら固定してください。

4 整流板をはずします。（図5－3）
整流板の左右を両手で支え、押し上げます。
左右の突起を押し込みながらゆっくりと10cm程度おろした状態で、整流板を少し奥に押しながら上に持ち上げ、金具からはずします。

5 スロットフィルタをはずします。（図5－4）
スロットフィルタを手で支えながら、スロットフィルタを固定しているフィルター押えを手前にスライドさせ、とってを持って手前やや下側に引き出します。

6 ランプパネルをはずします。（図5－5）
(1) 2ケ所のランプパネル固定ねじをはずします。
(2) 前側を6cm程度おろし、そのままの状態で後側をかるく押し上げ、そのまま手前にスライドさせ後側両端にあるツメ２ケ所をはずし、ランプパネルをはずします。

お願い 内部の配線を傷つけたり、はさんだりしないでください。

7 座付ねじ（φ 5.1 × 45）4本で本体の背面をしっかりと固定します。（図5－6）

お願い
ファンユニット部分の固定にはφ 8取付穴を使用してください。ダルマ穴には固定しないでください。

8 ランプパネルをはずしたときと逆の手順で取り付けます。

9 スロットフィルタ・整流板を取り付けます。
(1) 本体奥側の溝の部分にスロットフィルタを差し込み、フィルター押えを奥側にスライドさせて固定します。
(2) 整流板引掛け部をフードの吊り金具に引っ掛けます。
前端をゆっくり持ち上げてパチンと音がするまで押し込んでください。

お願い 整流板を軽く下に引いてみて、確実に取り付けられたことを確認してください。

6. ダクトと排気用部品の接続

お願い
ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないように図を参照してドリリングタッピンねじ使用範囲以内に固定してください。（図6－1）

■ 上方排気の場合（図6－2）
風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。

■ 後方排気の場合（図6－3）
（別売のL形ダクトを使用する場合）

1 本体に付いているねじ２本を取りはずした後、L形ダクトを本体上部の差込口に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、取付ねじ２本で取り付けてください。

2 風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。

■ 排気口設置面の漏風確認のお願い
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面（フード天面等）が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。
排気漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）を行ってください。
漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置を行ってください。（図6－4）

7. 電気配線

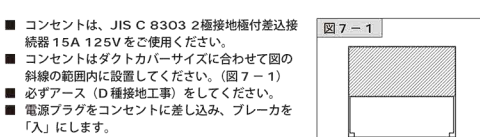
⚠ 警 告

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
  発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

- 交流100V以外では使用しないこと
  火災・感電の原因になります。

- 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
  誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

- アースを確実に取り付けること
  故障や漏電のときに感電することがあります。
  アースの取り付けは販売店にご相談ください。

■ コンセントは、JIS C 8303 2極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。
■ コンセントはダクトカバーサイズに合わせて図の斜線の範囲内に設置してください。（図7－1）
■ 必ずアース（D種接地工事）をしてください。
■ 電源プラグをコンセントに差し込み、ブレーカを「入」にします。

お願い 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。

連動線がある場合

お願い
電動シャッター仕様の場合以外は電動シャッター用コネクタのショートピンははずさないでください。
動作不良の原因となります。（図7－2）

8. 幕板の取り付け

1 幕板を取り付けます。
幕板締付金具のねじ（左右各１ケ所）をゆるめ、付属の幕板を前から差し込みます。

2 幕板を固定します。
幕板の取付位置を決め、幕板締付金具のねじを締め付けて固定してください。

9. 試運転

⚠ 注 意

- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
  けがのおそれがあります。

■ 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書５ページをご覧ください。
■ 運転時、各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。
■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
■ 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
■ 取り付けまたは施工上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

10. お客様への説明

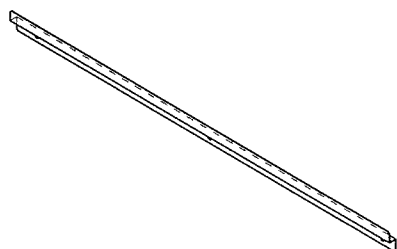
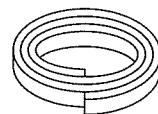
■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

[製造元] 富士工業株式会社
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１－９
TEL 042(768)3754（営業部）

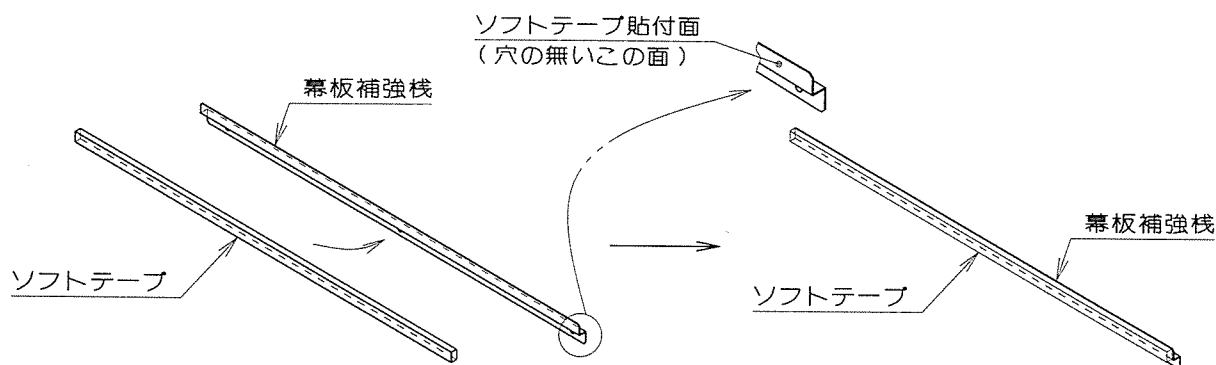
レンジフード取付補足説明書

本補足説明書は、同封の取付説明書に対し変更となる項目のみ記載してあります。
同封の取付説明書と併せてお読みいただき、正しく取り付けをおこなってください。

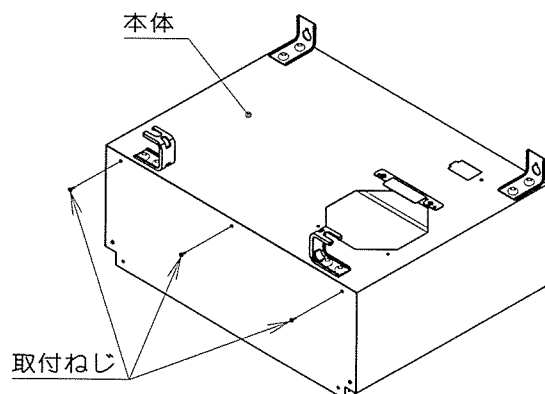
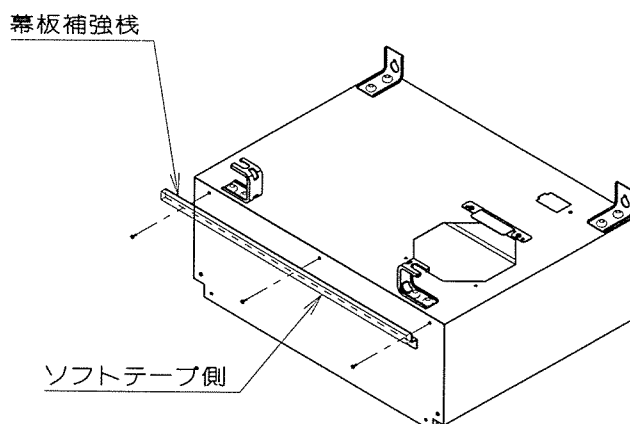
※製品単体質量：取付説明書に対して、+2.5Kgになります

追加となる付属品

取り付けかた

レンジフードの取付説明書「4.排気用部品の準備」のあとに幕板補強桟を取り付けてください。

1.幕板補強桟にソフトテープを取り付けます。

2.幕板補強桟を本体に取り付けます。

（1）本体に付いている取付ねじ3本を取り外します。

（2）1のソフトテープが付いた幕板補強桟を、（1）で取り外した取付ねじ3本で取り付けます。

レンジフードの取付説明書「5.本体の取り付け」に従って取り付けを行ってください。